

平成28年度 学校法人 三幸学園 東京未来大学福祉保育専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 小川 孝裕

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 橋本 忠幸

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、福祉保育分野の学校として「福祉・保育現場に貢献することで、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、福祉保育分野として「豊かな人間性と確かな技術で、関わる人に、幸せや希望を提供できる人」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・出席率の向上、退学率の低減に向けて全教職員へ周知。
保育科は低下し、介護福祉科は向上。

② 学校関係者評価委員会コメント

- ・(介護)2年生はとても真面目。資格取得を前倒しにして受けたい等自ら行動しており、モチベーションが高い。
- ・(介護)今年度の学生は、給与面より福祉業界にどういう形で関わり、どういう形で貢献したいかという気持ちが伝わる。
- ・(介護)実習生を比較すると、昨年度と今年度と格差がある。
昨年度の退学者の多かった理由にも関連があるのではないか。
- ・一般的に、介護や保育業界は、担い手が不足しているといわれる中で、学生が高いモチベーションを維持しながら、真面目に取り組んでいることは今後の足立区を支える人材として期待したいし、頼もしく感じる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	2
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

保護者に対する周知は意識的に発信していない

② 今後の改善方策

HP へ記載を工夫したり、郵送物送付時に周知するような手段を検討したい。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

・(高校)理念に関しては周知できてないが、飛鳥未来高校としては保護者会を実施したいと思っている。
(現在、三者面談は行っている。)

・(高校)入学式に保護者が来るので、そのときに話を交えてもよいのではないかと。

・学園としては、首都圏合同で保護者会をおこなっているが、学校単位ではおこなっていない。

・(専門学校)保護者が、片親だったり、仕事をしていたり、いろいろな環境があるため、今年度は担任が電話で保護者と連絡をとっている。

・区が実施している子どもの学習支援事業でも、ひとり親家庭の保護者等には、忙しいなどの理由で連絡をとることが難しいこともある。そのようなときは受託事業者のスタッフが電話連絡だけでなく、家庭訪問を行う場合がある。

・(全体)工夫を図り、保護者へも伝達していきたい。

(2)学校運営

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

開校3年目で、新たに着任した教員が1/3を占めるため、理念、方針の理解を深めたい。

② 今後の改善方策

理念、方針の理解を

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

・全体会議時に理念や方針をきちんと伝え、6月からの新しい教員にも伝えている。

・新任教員は現場経験のある教員を採用。そのため新人研修は、理念や方針、また介護は国家試験があるため、現場の内容と、試験の内容を分け、国家試験に向けての指導もしている。

- ・保育教員は「あの子」と呼び、学生というより子ども目線で見えてしまい、叱ることができない場合があるのが現状。→叱ることも必要である。引き続き教員の教育をしていく。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	2
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

業界団体、外部関係者との交流はあるが、体系的なカリキュラムの取り入れは、厚生労働省の指定養成基準に沿って実施している

② 今後の改善方策

どのようにできるのか幅広い意見を取り入れて模索したい。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・国家資格のため、授業内容等流動的にできるものが限られている。
- ・(介護)EEP(アーリーエクスポージャープログラム)を実施している。
→ 実習の場慣れができ、現場を見ることができる。

- ・(保育)学生が授業外で、保育体験をおこなっている。(マジックタイム)
- ・(保育)現場に入るのが初めての学生に、保育園とはどういうところか、先生たちはどういう仕事をしているか実体験をさせる。
- ・(保育)どういう風に子どもと振舞ったらよいかわからない学生が多いため、実習に送る前にこういう体験ができることは良い。
- ・(保育)現場の先生を見ながら、将来保育士としてのビジョンを想像しやすい。
- ・(保育)教科書だけの学習で頭でっかちにならず、現場での経験が学習につながってくると思う。

(4)学修成果

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

今年初めて卒業生が出た。保育科、介護福祉科ともに就職希望者の就職率は100%であった。介護福祉科の退学者は1名に減り、保育科は12名と増えた

② 今後の改善方策

4月の早い段階から個人面談を実施し、担任からは保護者宛に電話するなど、家庭、学校、本人が一体となって、退学防止、遅刻、欠席の低減対策に努める。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・このご時世、保育介護業界は、就職希望者は就職できる。
- ・どの学校も一期生は問題があることが多いが、アンケート評価は良い。(卒業生が遊びに来ることもある。)

(5)学生支援

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3

保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

進路、就職の支援体制はできているが、全般的にはまだまだでき切れていない部分がある。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

・中途退学者への支援

(足立区) 貧困の連鎖を断つためには、高校中退者を生まないこと、或いは中退してしまった者に対して、学び直し等によって、いかに自立した若者に成長できるかを支援していくことが重要。

・現在も、都のユースソーシャルワーカーなどと連携しながら支援している。

・中退の原因の一つは、入学前に想像していた学生生活と入学後とのミスマッチ。三幸学園の場合、例えミスマッチが起きて中退しそうな者があっても、マッチできる姉妹校を見つけ、つなげることができるのではないかと。

・学校や家庭に安心、信頼ができる居場所を見出せない子どもにとっては、区が実施しているようなものも含めて、様々な「第三の居場所」が必要。

上述までが小職の意見、以下は校長先生のご意見で宜しいでしょうか。

・家庭などに問題があっても先生に親しみを感じ、先生が見捨てず理解すると、学生が学校に来る場合もある。

・ほめるだけでなく、叱ったり、先生が本物だと思わせる教員を育てることもひとつの方策。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

問題なし

② 今後の改善方策

③ 特記事項

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

まだまだ教育成果を正確に伝え切れていない。

② 今後の改善方策

HP などでもっと強化して発信することが必要である。

③特記事項

④学校関係者評価委員会コメント

- ・法律改定があり、介護士として資格を取ると、ビザ発給条件になるため、留学生が増えると予想。
- ・保育、介護ともにマイナスのイメージがあるため、イメージを変える必要がある。
→社会的イメージの向上と、必要な職業という認識。
- ・例を挙げると、ケアマネージャー十数年で年収 600 万、施設長 700 万円程度。
決して低くはないので報道に問題がある。
- ・社会福祉法人は退職金が甘い。(15 年勤続でも 100 万円程度)→改善していく必要がある。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

・なし

④ 委員コメント

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

問題なし

② 今後の改善方策

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

地元保育園、施設等への継続的な地域貢献、社会貢献活動は実施中だが、公開講座は実施していない。

② 今後の改善方策

公開講座は、同じ校舎内のみらい園にて実施しているため、専門学校では実施予定なし。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(保育)足立区の保育園にボランティアに行ったり、ハロウィン時は保育園児が200人程度学校に来たりする。
- ・(介護)スポーツ体験をしたり、網戸の張り替え体験をしたりする。
- ・教育訓練は現在申請中(保育)
- ・こどもみらい園で公開講座を行う予定。(発達障害や親子関係)→校内や区などに周知

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

平成29年度から留学生の受け入れを開始した。手続き上は法律に則って実施している

② 今後の改善方策

学習成果が見えてくるのはこれからであるため、評価については学校内外の意見をしっかり受け止め改善に向けた取り組みをしっかりと行いたい。

③ 特記事項

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(介護)日本国籍だけでは人手不足。
- ・(介護)韓国や中国籍だと国籍を理由におむつ交換を断る老人がいたが、関係構築によりおむつ交換ができるようになったケースがあった。→業界でフォローできるようにしていきたい。
- ・(足立区)学習支援事業でも外国にルーツがある子どもはおり、学習面での課題の一つになっている。
- ・そのような子どもに対する支援や自立までのシステムティックな流れが区内にあると良いと感じている。
- ・(介護)外国籍の受け入れ依頼が来るが、信用できない場合があるので、公的機関で保証されている状況にしていきたい。→入居者が安心する。
- ・留学生がきちんと就業できるルートがあると良い。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・退学率が気になる部分。1年での退学が大きく影響すると思うので、退学率低下を目指す。
- ・現場に合った教育内容になると良い。教科書の知識は必要だが、実践に使える知識・技術を身につけてほしい。
- ・介護のイメージが大事。 学生ががんばっている中、学校が発信源になってほしい。
 本当の現場を目で見て発信してくれたら良い。
- ・保育介護という分野の中、高いモチベーションで取り組んでいるのが見受けられる。将来が頼もしい。
- ・中退者のミスマッチがあるが、学園としてサポートしていけたらよいと思う。

以上